

授業 科目名	【G】	教養演習Ⅰ・Ⅱ	Y	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2+2
	【H】	教養演習Ⅰ・Ⅱ	Y			【H】2		【H】2+2
	【I】	教養演習Ⅰ・Ⅱ	Y	選 択 必 修		【I】2		【I】2+2
科目区分	基本科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	東洋思想と西洋思想の比較検討から「世界」を読み解く				担当者	豊岡めぐみ		
授業概要	【概要】	東洋思想と西洋思想の比較検討を通して、「世界」から身を引いて「世界」を観想してみましょう。思いがけないような気づきに出会えることと思います。他者との「対話」しながら、自分の考えを深めましょう。時に映画を使用しながら、社会問題について考える時間や、各自が自由にテーマを設定し、情報を収集して発表する機会も設けます。						
	【到達目標】	一般的に言われていること、教科書に書いてあること、テレビやネットで報道されていることを丁寧に読み解き、その真偽を問う姿勢を身に着ける。大変なことです。こういった姿勢を養うことを最終目標として、「対話」をしながら、時に視聴覚教材を用いながら授業を進めていきます。						
履修条件	特になし。							
アクティブ ラーニング の方法	【 - 】	事前学習型	【 - 】	反転授業	【 - 】	調査学習	【 ○ 】	フィールドワーク
	【 - 】	双方向アンケート	【 - 】	グループワーク	【 ○ 】	対話・議論型授業	【 ○ 】	ロールプレイ
	【 - 】	プレゼンテーション	【 ○ 】	模擬授業	【 - 】	PBL	【 - 】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP (ディプロマ・ポリシー) ①	- (当てはまらない)						
	DP (ディプロマ・ポリシー) ②	◎ (よく当てはまる)						
	DP (ディプロマ・ポリシー) ③	◎ (よく当てはまる)						
	DP (ディプロマ・ポリシー) ④	- (当てはまらない)						
他科目との 関連性	フレッシュマンセミナー							
教科書	特になし。							
参考書	授業中、適時紹介する。							
評価方法	発表・発言 (50%)、授業への参加態度 (50%) を総合的に判断する。							
フィードバック 方法	授業内の意見交換、発表に対し、授業の中でフィードバックを行う。							
評価基準	授業に積極的に参加して、学習した内容を十分に理解し、課題を達成できた者にはその程度により「S」または「A」、やや不十分の場合には、その程度に応じて「B」または「C」とする。参加度や達成度が著しく低い者はその程度に応じて「D」または「E」、全く参加しないなど判定不能な者は「F」とする。							

授 業 科目名	【 G 】	教養演習 I ・ II	Y	区 分	開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2+2
	【 H 】	教養演習 I ・ II	Y	選 択 必 修		【 H 】 2		【 H 】 2+2
	【 I 】	教養演習 I ・ II	Y			【 I 】 2		【 I 】 2+2
授業内容	<p>〈教養演習 I〉 第1回：ガイダンス・「西洋」について 第2回～第12回：講義・演習 ・「私」とは何か ・「世界」はどのように在るのか ・「精神」と「身体」のありかた ・「生」の哲学について ・規則性（必然性）について等 第13回～第14回：発表準備 第15回：発表</p> <p>〈教養演習 II〉 第1回：ガイダンス・「東洋」について 第2回～第12回：講義・演習 ・「私」について ・「美意識」について ・「精神」と「身体」のありかた ・「死」について ・偶然性について等 第13回～第14回：発表準備 第15回：発表</p>							
予習内容	発表のための事前準備（発表テーマについての調査、レジюмеやPowerPoint作成など） 授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください。							
復習内容	各授業終了後に自分の見解をまとめておきましょう。 授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください。							
その他	映画だけでなく、時に漫画や音楽も使いながら授業を進めます。他者との「対話」を通して授業を進めていきますので、積極的な参加を求めます。 ※G・H・Iカ：【 Iは選択必修（A）・IIは選択必修（B）】							